

第1回新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会 会議概要

日 時 令和元年8月9日(金) 午前10時～  
会 場 白根健康福祉センター 3階多目的ホール

<p>午前 10 時 事務局</p>	<p>それでは、今年度第 1 回目の新潟市南区地域福祉アクションプラン推進委員会を開催させていただきます。</p>
<p>健康福祉課長</p>	<p>私は、本日の司会進行を務めさせていただきます南区健康福祉課課長補佐をしております渡邊と申します。よろしくお願いいたします。 傍聴人はいらっしゃいません。会議の会議録を作成するというので録音させていただきますので、よろしくお願いいたします。 開会にあたりまして、南区健康福祉課、課長の田中よりごあいさつ申し上げます。</p>
<p>事務局</p>	<p>皆さん、いつもお世話になっております。南区健康福祉課長の田中でございます。 今日は本当にお忙しい中、また、とても暑い中お集まりいただきまして、ありがとうございます。私事ではありますが、先週土曜日に熱中症になりまして、ぜひ皆様には体調管理を十分にさせていただきたいと思っております。 さて、本日ありますこの南区の地域福祉アクションプランでございますけれども、各分野毎に重要な事業が数多く盛られているところでございます。本日は平成 30 年度の取組みなどの実績報告が中心になりますけれども、委員の皆様から忌憚のないご意見、あるいはご評価等をいただきながら、また、取組みや課題につきましては、それぞれ地域に持ち帰っていただきまして、今後の福祉活動に活かしていただければと考えております。 今日は時間も長くなりますが、よろしくお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>続きまして、南区社会福祉協議会の事務局補佐よりごあいさつ申し上げます。</p>
<p>南区社会福祉協議会事務局補佐</p>	<p>皆様、おはようございます。また、本日はお暑い中お集まりいただきまして、大変ありがとうございます。 私は、南区社会福祉協議会事務局長補佐を仰せつかっております竹石と申します。よろしくお願いいたします。 さて、日ごろ、地域福祉の推進と社会福祉協議会の事業推進にご理解とご協力をいただいておりますこと、誠にありがとうございます。 また、本日、南区の地域福祉アクションプランということで、6 年計画でございますが、本年度で 5 年目となります。推進委員の皆様をはじめ、地域の方々や区役所、関係機関等が計画の実現を目指してさまざまな取組みを行っていただいておりますことに厚くお礼を申し上げます。計画に掲げる目標を達成するためには、地域の住民同士の助</p>

事務局	<p>け合いや支え合いといった意識や行動が一番大切であるのではないかと考えております。委員の皆様には、今後とも地域福祉の推進にご尽力をよろしくお願ひしたいと思っております。</p> <p>本日はご多用のところお集まりいただきまして、大変ありがとうございます。以上でごあいさつとさせていただきます。よろしくお願ひいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、本日お配りしました資料の確認をお願ひいたします。事前にお配りしております資料でございますが、会議の次第が1枚。それから、両面ですが委員名簿。資料1「南区地域福祉アクションプラン概要版」が2枚。資料2「平成30年度南区地域福祉アクションプラン福祉分野別計画進行管理表」、資料3補足資料が両面で16ページになります。資料4「新潟市の地域福祉に関するアンケート調査」、これが12ページのものになります。資料5「南区地域福祉アクションプラン策定経過資料編」、これが1ページです。よろしかったでしょうか。もしなければ、こちらに予備等がございますので、お申し出いただければと思います。</p> <p>引き続きまして次第の3の自己紹介でございます。今年度、交替で新たに就任された方もいらっしゃいますので、改めて自己紹介という形でお願ひしたいと思います。</p> <p>それでは、金子委員から時計回りでございますが、順番にお願ひしたいと思います。なお、本日、臼井地区の小林様と根岸の丸井様、連合保健会の知野様、子育て支援団体の藤様から欠席という連絡をいただいておりますので、それから田中順子委員も少し遅れているということがございますので、よろしくお願ひします。それでは、金子様、よろしくお願ひします。</p>
金子委員	<p>新飯田コミュニティ協議会からまいりました金子と申します。よろしくお願ひいたします。</p>
上杉委員	<p>コミュニティ茨曾根からまいりました上杉と申します。よろしくお願ひいたします。</p>
中丸委員	<p>庄瀬地区コミュニティ協議会から来ました。社会福祉協議会の中丸です。よろしくお願ひします。</p>
西村委員	<p>小林地区コミュニティ協議会から参りました西村茂と申します。今日はよろしくお願ひします。</p>
長谷川（晴）委員	<p>皆さん、おはようございます。大郷地区コミュニティ協議会からまいりました。初参加となりますが、長谷川と申します。よろしくお願ひ</p>

安達委員	<p>いたします。</p> <p>鷺巻地区コミュニティ協議会からまいりました安達竹郎と申します。よろしくお願いいたします。</p>
長谷川（茂）委員	<p>おはようございます。大通地区の長谷川です。よろしくお願いいたします。</p>
小柳委員	<p>おはようございます。白根コミュニティ協議会からまいりました小柳と申します。地域で食生活改善推進員をしております。よろしくお願いいたします。</p>
仲山委員	<p>味方地区コミュニティ協議会からまいりました仲山です。よろしくお願いいたします。</p>
近藤委員	<p>月潟コミュニティ協議会からまいりました近藤八枝子です。今年初めてなので何をするのかよく分からないのですが、よろしくお願いいたします。</p>
佐藤委員	<p>南区老人クラブ連合会副会長をしております佐藤です。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
永井委員	<p>身体障がい者福祉協会の永井です。よろしくお願いいたします。</p>
山田（久）委員	<p>音声訳ボランティア、音声訳ひばり会の山田久美子と申します。音声訳というのは、視覚障がい者に対して、文字情報とか写真・絵の情報を音声でお伝えするボランティア活動をしております。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
山田（ひ）委員	<p>子育て支援団体からまいりました山田ひろ子です。よろしくお願いいたします。</p>
田辺委員	<p>月潟コミュニティ協議会の田辺といいます。今現在、南区社会福祉協議会の副会長をやっております田辺といいます。よろしくお願いいたします。初めてでございます。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、事務局も自己紹介という形ですけれども、課長補佐は終わっていますので、そちらからお願いします。</p>
事務局	<p>皆さん、おはようございます。南区健康福祉課地域福祉担当の星野と申します。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>南区役所健康福祉課地域福祉高齢介護グループからまいりました新飯田と申します。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>同じく南区役所健康福祉課地域福祉高齢介護グループの戸嶋と申します。今年度より参加させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>南区健康福祉課児童福祉係の吉田と申します。この4月から、南区</p>

事務局	<p>でお仕事をさせていただいております。よろしくお願いいたします。</p> <p>同じく南区健康福祉課障がい福祉係の関本と申します。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>同じく南区健康福祉課健康増進係の相田と申します。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>お疲れさまです。同じく南区役所健康福祉課高齢介護担当の長谷川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>皆さん、おはようございます。同じく南区健康福祉課地域健康係の齊藤と申します。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>同じく南区健康福祉課保護係の昆と申します。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>南区社会福祉協議会の横山と申します。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>同じく南区社会福祉協議会の鹿柴と申します。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>同じく南区社会福祉協議会の漆原と申します。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>南区地域総務課安心安全グループの立川と申します。よろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、次第の4、議事に入ります。はじめに、委員長の選任についてでございます。このたび、南区社会福祉協議会から選出していただきまして、昨年度まで委員長を務めていただきました金子様が役員の交替ということで退任されました。従いまして、また新たに委員長を選出する必要がございます。</p> <p>委員長の選出につきましては、南区地域福祉アクションプラン推進委員会開催要綱第4条に、委員会に委員長と副委員長各1名を置き、委員の互選によりこれを定めると規定されております。委員長について、自薦、または他薦という方でどなたかいらっしゃればお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>ないようでしたら、事務局から案を出したいと思うのですが、案としましては、退任された金子様でいらっしゃいましたので、南区社会福祉協議会選出の田辺委員ではいかがでしょうかということでございますが、よろしいでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">・・・拍手あり・・・</p> <p>ありがとうございます。それでは、田辺委員は委員長席へ、山田委員は副委員長席をお願いしたいと思います。</p>

<p>田辺委員長</p>	<p>それでは、以降の会議の進行につきましては、南区地域福祉アクションプラン推進委員会開催要綱の規定により、田辺委員長からお願いいたしたいと思います。それでは、委員長、よろしくお願いいたします。</p> <p>皆さん、おはようございます。</p> <p>このような大役ということで、金子さんから私にということですが、この会は初めてでございます。社会福祉協議会の方で私も知っている方も二、三おられますが、そのほかはほとんど知らない方でございますので、この会がスムーズにいきますように、ひとつお願いしたいと思っております。</p> <p>先ほども自己紹介をしたわけですが、私もこの社会福祉協議会に来る前には、月潟のコミュニティ協議会会長を4年やっておりました。その前は、大字月潟の自治会長を4年やっておりました。そのようなわけで、ボランティアをもう8年やっておりますので、今年で辞められるかなと思ったら、またこの社会福祉協議会に行ってくれよと。もう2年の約束でございますので、一つよろしくお願いいたいと思います。</p> <p>不慣れでございますので、うまくいかないところは皆さんの協力を得まして、これから進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたいと思います。</p> <p>これからの進行につきましては、皆さん方のご協力をお願いしたいと思っております。</p> <p>福祉の向上のためにこの計画があるわけですが、私ども委員の役割といたしましても、この計画の進捗状況の把握とか、あるいは評価を見ていくことで、このプランがスムーズにいくようにということでございます。</p> <p>このプランはなかなか、役員もしていて分からないという、失礼なことですが、私がちょうど自治会長のときに地区のプランを作成する会議が何回かもたれました。それから、これからこういうものがあるのだなということを、実を言うと地域の住民もよくご存知ないということで役員とか、区役所の人とか、社会福祉協議会の方、そういう人たちで、一般区民の方は非常に知らないというのが残念ということが、一つ私の思いであります。そのようなことで、このアクションプランの概要やこの会議の目的について、事務局から今一度こういうことにつきましては、説明をしていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたいと思います。</p>
--------------	---

事務局	<p>今、委員長からアクションプランについて説明をしてもらいたいということでしたので、説明させていただきます。</p> <p>私は、健康福祉課の星野でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>これからアクションプランの概要についてお話しさせていただきたいと思うのですが、その前に、皆さんの前に出ているコーヒーマチなので、少しご紹介させていただきたいと思うのですが、このコーヒーマチにつきましては、当センターの1階に「わいわいカフェ」というカフェがございます。このカフェというのは、四つの障害者団体、具体的には南区身体障がい者福祉協会、南区手をつなぐ育成会、南区肢体不自由自児者父母の会、非特定営利法人ゆうわという団体が共同で障がい者のために、住み慣れた地域で地域との交流、社会参加の場をつくり、共生社会の実現に向けて福祉向上に寄与する目的ということで設立されたカフェでございます。そちらのカフェのコーヒーマチということで、ご了解いただければと思っております。</p> <p>それでは、アクションプランの概要と会議の目的について、簡単に説明させていただきます。資料1「南区地域福祉アクションプラン概要版」の2ページをお開きください。</p> <p>新潟市では、住民にとってより身近な地域の実情を十分に酌み取るため、行政区ごとに計画を策定し、地域住民を主体に地域の福祉に取り組んできた経緯があります。このアクションプランは、市町村が策定する地域福祉計画と地域福祉活動計画、これは社会福祉協議会が主体となって地域の生活課題解決策を見出すというような計画になります。これが、地域福祉活動計画となります。この計画を、地域の課題や地域福祉の推進の方向性をともにしながら、区として一体的に策定したものとご理解いただければと思います。</p> <p>計画の構成としては、大きく二つになっております。3ページ目にあります分野別計画と、4ページ目にあります地域別計画の二つで構成されています。本日の委員会では、3ページにあります分野別計画の各体系に基づいた取組みの実績報告となります。</p> <p>この分野別計画の体系には、大項目が四つございますのでご覧いただきたいと思っております。大項目一つ目「児童・子育て支援」、二つ目「障がい福祉」、三つ目「高齢者福祉・介護者支援」、四つ目「地域づくり」とあります。この四つの大項目には、それぞれいくつかの小項目がついています。本日の会議の目的は、4ページに「進行管理と評価体制」と書いてありますが、平成30年度に行われた実績とその評価案について委員の皆様にご説明し、ご意見をいただくということでござい</p>
-----	--

<p>田辺委員長</p>	<p>ますので、何卒よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>また、昨年度の会で、皆様に見ていただいた取組みの様子の動画なのですが、今年、また新たに委員になられたという方もおられますので、事務局側にも新任の者もいますので、改めてになります、取組みのイメージを具体的にもっていただけるよう、10分程度ですが、これから映像をご覧いただきたいと思ひます。</p> <p>それでは、動画をご覧いただきたいと思ひますが、投影のため、事務局と委員長、副委員長は、一旦席にお戻りいただければと思ひております。事務局は、端の席にご移動いただければと思ひます。よろしくお願ひいたします。これから照明も落とします、ご了解いただきたいと思ひます。</p> <p style="text-align: center;">(動画視聴)</p> <p>取組みの一部分でしたけれども、映像をご覧いただきました。この動画につきましては、この委員会だけにお見せするという事で撮影許可をいただいておりますので、ほかの会議等での使用はできませんので、あらかじめご了解いただければと思ひます。</p> <p>以上で、アクションプラン概要の説明を終えたいと思ひます。</p> <p>ありがとうございました。進行の前にアクションプランの概要ということと目的、こういうことを今説明してビデオで見てもらったわけでございます。それでは、これからは、平成30年度の資料2の進行管理表と、資料3の補足資料とを併せてご覧いただき、ヒアリングしていただければと思ひます。それでは、四つの大項目の取組みと評価案について、聞いていきたいと思ひます。</p>
<p>事務局</p>	<p>まず、はじめに児童・子育て支援の分野から順に説明をお願ひしたいと思ひます。事務局、お願ひします。</p> <p>健康福祉課児童福祉係の吉田と申します。よろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、児童・子育て支援の取組内容について説明いたします。資料2の1ページ目をお開きください。</p> <p>まず、大項目「安心して子育てできるまち」ということです。小項目の一つ目「子育て世代が孤立しないまちづくり」についてです。取組番号の①番「多様な手法による子育て情報発信」の実施内容としては、健診、育児相談会及び保健師や助産師による訪問などの機会を利用して、子育てに関する情報を提供しました。こちらは、予</p>



定していた健診をすべて実施しておりますので、評価はAとしております。

次に、取組番号の②「子育て中の親同士の交流促進、ネットワークづくり」では、健診や育児相談会、NPプログラム、BPプログラム、子育て広場を開催いたしまして、同世代の子育て中の親同士の仲間づくりにつながりました。補足資料の1から4ページに、NPプログラム、BPプログラム、そして子育てオーエンジャー☆みなみの資料をつけさせていただきましたので、後ほどご覧いただければと思います。また、子育て支援の取組みについては、先ほどの映像でもいくつかご覧いただきましたが、NPプログラム、子育てサロンについては予定どおり開催ができ、評価をAとしておりますが、BPプログラム、子育て広場については、回数は予定していたものを行うことができましたが、参加者数が目標に満たなかったため、評価はBとしています。

今後の課題等についてですが、BPプログラムは平成30年度で南区の事業としては終了しました。ですが、今年度、また児童館の指定管理事業者が実施していますので、開催の周知など、今後も引き続き子育てへの不安や孤立化の解消を図る活動について支援をしていきたいと思っております。また、参加者が目標を下回っている子育て広場につきましては、参加しやすく魅力ある内容となるよう検討し、周知していく必要があると考えているところです。

次に、資料2の2ページをご覧ください。小項目「地域で支えるゆとりをもった子育てができるまち」についてです。取組番号の①「子育て中の親同士の交流促進、ネットワークづくり」では、NPプログラム、BPプログラム、サロン交流会、子育て広場交流会を開催し、子育て中の親同士の交流促進につなげることができましたので、評価はA及びBとしております。

取組番号①の5番目「安産教室への父親参加を継続、家族・地域で子育てにつなげる」におきましては、年3回の安産教室に各回定員15人のところ1回当たり平均で12人の父親参加があり、育児への参画の第一歩となっております。また、育児をしていく上で、家族の協力は不可欠ですので、安産教室や健診等を利用しまして、父親や家族の育児参加の啓発を行いました。そのほか、取組番号の①から③は、前ページと重複しておりますので、説明は省略させていただきます。

取組番号④「子育て支援リーダー、ボランティアの育成と活動の支援」では、子育て支援リーダーを1名増員することができましたので、評価はAといたしました。

田辺委員長	<p>今後の課題としましては、現在取り組んでいる子育て支援リーダーによる子育て広場やNPプログラムなどを継続して実施できるように、支援リーダーやボランティアを確保、維持していくことが課題となっております。また、子育て広場や子育てサロンを利用したことの少ない親子の方も多数いらっしゃいますので、子育て支援センターや児童館と連携しまして、内容、体制を検討していく必要があると考えております。</p> <p>次に、資料2の3ページをお開きください。小項目「子育て支援施設・事業の充実」についてです。取組番号の①、②については、前のページと重複しておりますので省略いたします。</p> <p>取組番号③「ファミリーサポートセンターによる子育て世帯への支援・事業PR」については、登録者数は増加いたしました。提供会員数が目標に達していなかったため、評価はBといたしました。</p> <p>次の④「既存の保育サービスの拡充と新たなサービスの検討」については、年度途中の入園希望に対応するため、臨時保育士を雇用いたしました。また、今まで保護者が手書きをしておりました登園、降園の際の時間の記録というものがあるのですが、一部の園でタイムカードを導入しましたので、評価をAとさせていただきます。</p> <p>取組番号⑦「中高生を中心とした思春期教育の推進」ですが、白根高校と各中学校で思春期教育講座を開催いたしました。高校生の参加が目標を下回ったのですが、目標の回数は開催することができ、中学生の参加者数は目標を上回りましたので、評価はAとしております。</p> <p>今後の課題等ですが、健診や新生児訪問はほぼ全員実施していますが、育児相談会や子育て支援センター、子育て広場などは希望者のみの参加となりますので、相談できずに一人で悩んでいる方がいないように、そういったところに配慮していく必要があると考えております。また、ファミリーサポートセンターにつきましては、会員数は増加しておりますが、提供会員が減少しているため、住民への事業内容、必要性を分かりやすく伝え、さらなるPRが必要となっております。</p> <p>以上で、児童・子育て支援の取組みについての説明を終わります。ありがとうございました。</p> <p>ありがとうございました。ここで皆さん方のご意見や質問を受ければいいのですけれども、もう3課題につきましての説明が終わった後に一括して質問等を受けますので、よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>それでは、続きまして障がい福祉分野についてお願ひしたいと思います。</p>
-------	---

事務局	<p>私は、健康福祉課障がい福祉係の関本と申します。よろしくお願いいたします。</p> <p>障がい者福祉の取組みについて、説明いたします。資料2の4ページをお開きください。</p> <p>小項目名「福祉サービス利用の相談体制充実」についてです。課題の相談支援事業者等の周知のための実施内容は、機関相談支援センター秋葉を周知する手段としまして、チラシを窓口を設置したり、相談内容や連絡先等を南区役所だよりや区社協だよりに掲載し、周知いたしました。また、幼稚園、保育園、小学校、中学校の関係者を対象とした研修会においても、相談窓口の周知を行いました。区だより、区社協だよりの掲載及び相談支援に関する研修会開催について、年度目標は各1回に対して各1回実施ということで、評価はAとしています。</p> <p>課題につきましては、どこに相談したらよいか分からないという人が減るように、引き続き周知を図っていきたいと考えています。</p> <p>続きまして、次のページ、5ページをお開きください。小項目名「障がいのある人と地域が交流できるまち」についてです。課題の地域の人たちへの障がいに対する理解と地域の受け皿づくりのための実施内容は、「南区自治協議会、校長会へ情報発信」としては、幼稚園、保育園、小学校、中学校と、義務教育までの子どもの成長に対応した関係機関を対象とした研修会を通じて情報発信を行いました。事例、グループワークをとおして、障がいをもつお子さんや親御さんたちの悩みなどに気づいた場合の対応や相談場所といったより具体的な話し合いも行い、情報共有を図りました。</p> <p>「地区社会福祉協議会行事への参加依頼」については、大通地区にて障がいの理解のための研修会を開催し、発達障がいの理解を深めました。「健康づくり講座」につきましては、10月25日に一般向け講座、12月14日に思春期向け講座と2回開催し、精神障がいについての理解を深めました。評価としましては、自治協に情報発信は行っておりませんが、子どもの日常生活の場である学校関係には研修をとおして情報発信を行いましたので、評価についてはBとしています。それ以外は、目標数値を回数で挙げていましたので、評価をAとしております。</p> <p>今後の課題につきましても、障がい者が地域の行事に参加できるよう、継続的に働きかけを行い、情報発信に努めたいと思っております。</p> <p>続きまして、資料2の6ページをお開きください。小項目「自立支援体制の充実」についてです。課題の地域の課題解決に向けて話し合</p>
-----	--

<p>田辺委員長</p>	<p>える環境の整備の推進のための実施内容は、「南区障がい者自立支援協議会の運営」ということで、協議会では、平成30年度と平成31年度の2か年で取り組む四つの地域課題に取り組んでいます。この地域課題、それぞれ進行管理を行いながら情報共有を行っているもので、年度目標4回に対して実績も4回開催しました。もう一つ、「南区地域福祉ネットワーク会議の運営」についてですが、9月に研修会、2月に公開講座を開催し、顔の見える関係づくりに取り組み、大勢の方にご参加いただきました。また、「障がい児関係機関合同研修会につきましても、6月に開催し、顔の見える横のつながりを目標に課題解決に向け情報を共有しました。この三つの取り組みについて、目標数値の回数で挙げていましたので、評価はAとしております。</p> <p>今後の課題につきましては、継続して顔の見える関係づくりに取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>なお、アクションプラン体系図には、「分かりやすい福祉情報の提供」という項がありますが、バリアフリー情報につきましては、平成29年度の区づくり事業でバリアフリー情報を掲載した福祉マップを発行し終了していることや、昨年度からほかの取組みに置き換え、区だよりや研修会をとおして情報発信をしていくということとして、平成30年度分から進行管理表から外れていますので、補足させていただきます。</p> <p>以上、障がい者・福祉分科会の平成30年度進行管理の評価の説明を終わります。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>それでは引き続きまして、高齢者福祉・介護支援分野についての説明をお願いしたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>私は、健康福祉課の相田と申します。よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、高齢者福祉・介護支援の取組みについて説明いたします。資料2の8ページをお開きください。小項目「高齢者・介護者を支え合うまちづくり」というページになります。こちらは課題が3点ありまして、一つ目が地域力の弱体化、人間関係が希薄になってきており、隣近所の様子分からないという課題が上がっております。これに関して、取組内容につきましては、取組番号①です。平成30年度は、助け合いの学校を南区で開催しました。地域で助け合いの活動を実践するうえでの心構えやマナーについて、85名の方が研修を受けました。修了者の中から、早速地域で助け合いの活動を進める方々もおられます。</p> <p>次に、課題の二つ目です。こちらは、地域包括支援センターの認知</p>

度がまだ低いという課題に対してですが、取組内容は②となりますが、毎月一回、南区だよりに高齢者の相談窓口として地域包括支援センターの情報を掲載しております。このほかに、地域の茶の間の訪問や、さわやかトーク宅配便開催時に包括支援センターのPRをしております。また、併せまして、医療機関や薬局等にポスター、地域包括支援センターをPRするポスターを区内に掲示してあります。次に、区内スーパーで行う高齢者出張相談会というものを開催してまいりまして、このときにのぼり旗を出してPRしてまいりました。

続いて、課題の3点目です。こちらは、介護教室の参加人数が少ないという課題に対してです。取組番号③となります。南区の三つの日常生活圏域毎に継続して開催しました。この三つの圏域とは、①臼井・白根北圏域、②白南・白根第一圏域、③味方・月潟圏域というエリアになります。平成30年度は、3か所で計8回、192名の方が参加されました。今後も委託先事業所におきましては、実施回数や参加人数増加に努めるようにしてまいります。ここで補足資料の5ページをお開きください。今年の3月に開催しました家庭介護教室の案内になります。講師を招いての講義や実際に体を動かすレクリエーションを行いました。詳しくは、後ほどご確認いただければと思います。

ここまでの取組みについては、概ね達成できましたので、評価はAとしました。

最後に、取組番号④の区及び圏域でのケア会議の開催についてです。圏域ごとでは、3回の会議を実施できました。区域につきましては、1回の会議を開催しました。会議では、介護や医療の専門職の方々と、認知症サポーター養成講座の開催推進や結び合い手帳の活用などについて話し合いが行われました。会議で浮上した課題の解決に向けて、今年度も取り組んでまいります。こちらの取組みについては、区域での開催が1回であったため、評価をBとしました。

今後の課題につきましては、まだ地域力の再構築が求められている中で、地域全体を見ると、まだ互助による助け合いの意識の醸成が不足しております。住民全体の見守りや支え合う地域づくりへの取組みを引き続き支援する必要があります。

次に、地域包括支援センターの認知度は、こうした活動の中から少しずつ上がってきてはいるものの、まだ不十分な状態です。介護教室も各日常生活圏域で開催ができるようになりましたが、参加人数にはまだばらつきがあります。そして、内容もニーズに合ったものとすることや、開催の周知についての再考がこれから求められていきます。

元年度の実施計画につきましては、このような点を改善、工夫しながら、同様に取り組んでいるところです。

次に、資料28ページをお開きください。小項目「高齢者の健康づくり・介護予防の推進」という項目に対しての活動になります。課題が2点ありまして、一つ目は、生活習慣病の予防と早期発見につながる特定健診の高齢者層の受診率、また、後期高齢者健診、各種がん検診は低い状況にあります。二つ目は、飲酒・喫煙率が高く、運動習慣のある人が少なく、このままでは生活習慣病の発症が危惧されます。

これに関する取組み内容①は「高齢者の健康づくりと介護予防の推進」のため、地区での健康づくり講座を支援するフォロー講座を実施しました。参考資料の6から7ページをお開きください。こちらは、ウォーキング講座です。この講座は白根健康福祉センターで実施しまして、年度評価はAとしました。参加者は、延べ95人です。

また、前の進行管理表に戻りまして、健診を受けやすくするために、ミニドッグ型集団健診を実施し、特定健診の受診者は増加しましたが、目標値までは達成せず、平成31年2月末までの区に入ってきている受診者数では2,917人と、目標値の73パーセントの達成状況でした。そのため、年度評価はBとしました。8区中の区別順位では、平成27年度は5位だったものが、平成29年度は3位に上がってきました。平成30年度の順位は、まだ出ておりません。

続いて、健康づくりの取組みについてです。南区では、糖尿病、高血圧の診療費が比較的高く、区民の健康寿命を延ばそうと、健康づくりに関心をもってもらおうとさまざまな取組みを行い、成果につながっているところでございます。補足資料は8ページをご覧ください。取組番号①の「はかろう体重！大作戦」のことが掲載されています。こちらは、事業PRをコミュニティ協議会と一緒に実施しまして、目標を上回るカード配布となりました。

取組番号②につきましては、主に保健会で取り組んでいる健康づくりの講演会についてです。補足資料の9から10ページをお開きください。これは、地区保健会で実施する健康づくり講演会の開催案内であります。各地区で13回実施しています。各地区でこのような、主に体を動かす講座を「元気アップ講座」として年14回開催しました。年度評価は、計画どおり進めておりますので、A評価といたしました。

今後の課題につきましては、健診受診率を高めるためにさらなるPRが必要です。

生活習慣の改善では、「はかろう！体重大作戦」に歩数を追加し、

参加しやすくなるように改善いたしました。また、区民から「はかろう体重、あるこう南区大作戦」を区と一緒にPRしたいという方をPR隊として募り、缶バッジをお渡しし、広く参加を呼び掛けていきます。本日、委員の皆様のところにも缶バッジを一つずつ配布させてもらっています。ぜひ、帽子やカバン、名札等に付けていただきまして、一緒にPRに参加していただければ幸いです。

続きまして、資料2の次のページ、9ページをお開きください。こちらの分科会の最後の小項目となります。こちらの小項目は、「認知症の予防と対策」についてです。課題として、認知症高齢者の増加と認知症の理解が挙げられています。取組みの内容としましては、①になります。「認知症予防出前講座」を16回実施しました。これは新しい取組みで、認知症予防の研修を受けた運動普及推進員が地域に茶の間に出向いて、認知症予防効果のある運動や脳トレ、レクリエーションを実施するものです。初年度のため目標値を年2回としましたが、平成30年度は16回実施しました。ですので、A評価としました。なお、今年度の取組みでは、目標値を年12回に上げております。

次に、取組番号②についてです。補足資料の11から12ページをご覧ください。取組みにつきましては、認知症サポーター養成講座について、各日常生活圏域のケア会議をとおして必要性を理解してもらったところ、23回の講座を実施できました。老人クラブや地域の茶の間など、地域の方々のほか、小学校保健会など、幅広い範囲で行われているのが特徴となっております。周知についても、区だよりも2回掲載したほか、南区の各小学校やハイヤータクシー協会などへも周知を行いました。続いて、認知症キャラバンメイト、こちらは認知症サポーターを養成する講座で、講師役となる方をキャラバンメイトと呼んでいます。キャラバンメイト未経験者と経験者との顔合わせを目的とした連絡会を開催するほか、キャラバンメイトには定期的にメールを配信するなど、認知症サポーター養成講座の円滑な開催につながるよう努めました。続いて、平成27年度に地域包括支援センターやボランティアにより南区で初めて認知症カフェが誕生し、継続的に開催されてきました。認知症やその家族の通いの場となっております。平成29年度より毎月実施となり、平成30年度は計12回開催されました。

この小項目に対する年度評価としましては、概ね目標どおりに実施できたとしてA評価といたしました。

今後の課題についてですが、軽度の認知症も含め、認知症高齢者は確実に増加傾向にあります。地域での見守りや専門職による初期集中

<p>田辺委員長</p>	<p>支援の対応が求められています。また、認知症カフェの開催も定例化してきましたが、参加者やボランティアの固定化も見られ、これからの運営方法も検討していく必要があります。キャラバンメイトの活躍の場については、連絡会をとおして定期的に検討していきます。それ以外にも、多くの地域の方々にサポーターとなってもらい、認知症を正しく理解していただいて、認知症の方やその家族を温かく見守る体制づくりが必要となっておりますので、講座についてより多く開催できるように努めてまいります。元年度は、項目としては平成30年度と同様の取組みをしていきますが、今後の課題については、それぞれに反映させながら進めていきます。</p> <p>以上で、高齢者福祉・介護支援の分野の説明を終わります。 ありがとうございました。</p> <p>それでは、最後の大項目でございます「地域づくり分野」についてお願いしたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>南区社会福祉協議会の漆原と申します。よろしくお願いいいたします。</p> <p>それでは、資料2の10ページをお開きください。小項目「地域のボランティア活動の場発信と活動支援」ということで、まず取組番号①としましては、研修会や講座などの機会にボランティア登録団体に向けて、ボランティアルームの利用を促す情報提供を随時行ってまいりました。よって、評価については、Aといたしました。</p> <p>次に、取組番号②「ボランティア情報の発行」ですが、年2回の目標に対し、同じく年2回発行をいたしました。これによりボランティア市民活動センターの取組みを広く広報することで、ボランティア活動の啓発に成果がありました。よって、評価については、Aといたしました。広報については、補足資料の13ページから16ページをご参照いただければと思います。</p> <p>次に、取組番号③「ボランティアの交流会開催による情報集約、連携体制構築」については、年2回の目標に対し、白根公民館と共催で中学生交流会を1回、また、登録ボランティアとサロンや茶の間、元気力アップサポーターなどの市民活動を行う方々との合同交流会を1回開催いたしました。これにより、ボランティア、市民活動者同士の情報共有、連携体制の構築などの成果がありました。よって、評価については、Aとしました。</p> <p>次に、取組番号④「講座、研修会の中での紹介」については、年4回の目標に対し、6回の開催をいたしました。これにより、新たなボランティア登録などの成果がありました。よって、評価については、</p>



Aといたしました。

次に、取組番号⑤「区内小中学校の総合学習の時間を利用した福祉教育の推進・企業向け福祉教育」については、年20回の目標に対し、小中学校合わせて年34回、大人向けは1回開催いたしました。これにより、学校での福祉教育は、子どもの福祉への関心を量的にも深めることができました。また、子どもだけでなく、大人向けの福祉教育を行うことで企業における福祉教育への理解を得ることができました。よって、評価については、Aといたしました。

最後に、取組番号⑥「災害ボランティアセンター設置訓練開催、災害ボランティアセンター検討委員会開催」についてですが、これは、訓練は1回、検討委員会6回の目標に対し、平成30年度は訓練に代えて研修を3回、検討委員会を6回開催いたしました。これにより、地区社会福祉協議会、コミュニティ協議会などの研修参加者を通じて、地域住民に災害ボランティアセンターの役割を伝えることができました。よって、評価はAといたしました。

それぞれの取組みと成果については以上ですが、今後の課題等について報告いたします。南区では、ボランティア活動をする方が重複しているという傾向がありまして、いろいろなボランティア活動に参加したいという意欲をもった方が多くいらっしゃる一方、まったくボランティア活動に関心を示されない方も少なくはありません。その関心を示さない層に、どのようにアプローチしたらよいか、切り口を見出すための情報収集が必要であると思っています。また、現在活動しているボランティアのモチベーションを上げる交流の機会の充実を図ることや、災害ボランティアセンターのセンターとしてのスキルアップを目指すような内容の研修を検討すべき時期がきていると考えています。

以上で、ボランティア関連の説明を終わります。

次に、資料の11ページをお開きください。小項目「地域の茶の間・ふれあいいいきサロン活動の支援」についてです。取組番号①、②「各種講座やサロン交流会及び研修会の実施」についてですが、交流会及び研修会それぞれ年1回の目標に対し、同じく年1回開催いたしました。交流会においては、先ほどボランティア活動で報告申し上げましたとおり、合同交流会として開催し、ボランティア・市民活動者同士の情報共有、連携体制の構築などの成果がありました。研修会では、2019年度からの助成申請について及び2018年度の報告書の書き方などについて説明いたしました。また、グループに分かれて茶の間・

事務局	<p>サロンの情報交換やお互いの茶の間の自慢、悩みなど、活発に話し合いが行われました。以上のことから、評価については、Aといたしました。</p> <p>次に、取組番号②「男性を対象にした交流会の開催」についてですが、年2回の目標に対して、実施は1回でした。男性だけの茶の間として開催することで参加者の増加を期待しておりましたが、あまり芳しい結果が得られませんでした。よって、評価については、Cといたしました。</p> <p>次に、取組番号③「南サロン・お茶の間マップを年1回社会福祉協議会だよりに掲載」、「サロン活動内容の広報」、「各お茶の間（サロン）会場に冊子を設置し、随時内容を更新」についてですが、社会福祉協議会広報誌にサロン活動団体一覧を掲載いたしました。しかし、サロン活動の内容については、限られた紙面の都合で掲載することができませんでした。よって、評価はCとしております。</p> <p>次に、取組番号④「地域に合った茶の間づくり支援」についてですが、未設定の目標に対し、実績はございませんでした。</p> <p>最後に、取組番号⑤「世代間交流会の開催」についてですが、年2回の目標に対して、年2か所の目標に対して、1か所にとどまりました。よって、評価については、Cといたしました。</p> <p>それぞれの取組みと成果については以上ですが、今後の課題といたしましては、引き続き茶の間に男性の参加者を増やす施策を講じ、多機関との連携を図るなど、さまざまな角度から取り組んでいきたいと思っております。また、茶の間に参加する方々が、お客様ではなくお互にできることを協力しあって茶の間を運営するという意識を高めていきたいと思っております。</p> <p>以上で、地域の茶の間、いきいきサロン関連の説明を終わります。</p> <p>地域総務課総務安心安全グループの立川です。私からは、資料2の12ページの「避難行動要支援者支援体制の充実」について説明させていただきます。取組番号①「各自主防災会での防災訓練における要支援者訓練の実施」ですが、各自主防災組織の訓練実施率が年60パーセントの目標に対しまして、23の自主防災会中、八つの自主防災会で実施していただいたということで、34.7パーセントとなりました。要支援者の訓練につきましては、市の推奨訓練にはなっておりますが、各地域における自主防災訓練の実施率が年度によってばらつきがございます。区では、それらを補う形で、区の総合防災訓練で要支援者の確認方法は各自主防災会に任せるという形で必ず要支援者訓練を取り入</p>
-----	--

<p>田辺委員長</p>	<p>れていただいておりますけれども、各地域単独の自主防災訓練に避難行動要支援者訓練に取り組んでいただけるよう、今後も引き続き助成金の申請時等をお願いしていきたいと思っております。評価につきましては、目標値を下回ったということで、Cといたしました。</p> <p>同じく取組番号①「避難行動要支援者名簿と登録対象者の確認」ですが、対象者の確認につきましては、全自治会に対して要請する目標に対しまして、通常は6月と12月なのですけれども、今回はシステムが変更になったということで8月と12月の名簿更新の際に、各自治会町内会、自主防災会に名簿を送付しまして、要支援者の確認要請を行いました。よって、評価については、Aといたしました。</p> <p>同じく取組番号①「地域の避難行動要支援者登録対象者への意識づけ」ですが、自治会・町内会長の研修会を年1回行う目標に対しまして、同じく1回行いました。目標値を達成したということで、評価につきましてはAといたしました。</p> <p>取組番号②「高校生防災ボランティア育成研修会の開催」ということで、白根高校の生徒に対して年2回行う目標に対しまして、一、二年生を対象に1回、3年生を対象に1回、計2回近隣の自治会、自主防災会、防災士の方々にもご案内を差し上げてご参加いただいて実施させていただきました。白根高校の防災ボランティア講座につきましては、防犯のみならず、地域防災の担い手ということで、引き続き今後も実施していきたいと考えております。また、白根高校の生徒には、防災ボランティア講座の後、白根地区中部の自主防災訓練にも参加いただきまして、避難所開設の補助として経験を積んでいただいております。評価につきましては、目標値を達成しているということでAとしました。</p> <p>それぞれの取組みと成果については以上ですが、今後の課題等につきましては、避難行動要支援者名簿について、役員交替時の引き継がしっかりとされていないケースがございますので、引き続き説明会などで周知していきたいと思っております。また、避難行動要支援者支援訓練についても、市の推奨する訓練の位置づけになっていることから、実施率向上にむけて、自主防災活動助成の申請の際、役所に訪れる際に自主防災会に実施をお願いするとともに、区の防災訓練にも取り入れながら、引き続き取り組んでいきたいと思っております。</p> <p>以上で、説明を終わります。</p> <p>ありがとうございました。これにつきまして、ただいま小項目につきまして、取組内容、あるいは効果、課題、評価案等について報告が</p>
--------------	---

長谷川委員	<p>あったわけでございます。これからは、皆さん方、これにつきまして聞き忘れとか、ご意見とか、ご質問、何でもけっこうです。自分の感じたことを、手を挙げて名前を言ってから質問を受けますので、忌憚のない意見、ご質問をお願いしたいと思います。</p> <p>小項目の地域の茶の間、ふれあいサロンの関係なのですが、課題に対して取組みの成果という欄ですけれども、一番上の「傾向として参加者女性のみ又は女性がほとんどで、また自力歩行による会場への移動が困難となっている」と。私も地域で茶の間をやっているのですが、やはり中には年々高齢化してしまっていて、やはり固定化はしている傾向もあるのですが、やはりうちの場合は一応自力で会場に来るとい、介助を伴わない、要するにスタッフに負担をかけないという意味もあるのですが、スタッフも人数がだんだん減っているというのも現状ですので、そういった意味で、自力で参加できるというのが一つの決まりごと、暗黙なのです。中には送り迎えをするのですが、そういう感じになっているのですが、ほかの茶の間の方の場合も多分同じような傾向は、うちは分からないのでどうかと想像するには、多分今まで継続、10年、15年なさっていると、当然最初の参加のときには50歳でも60歳、70歳になりますので、やはり高齢化して、やはり何かの手当てをしているのかなと思うのですが、そういったところというのは、総括していらっしゃるの工夫とか、ほかの茶の間の情報とかというものを、もし聞かせていただければと思います。</p>
田辺委員長 長谷川委員	<p>ありがとうございます。これについて、回答はいいですね。</p> <p>もし分かるようでしたら、把握されているのだったら。でも地域の茶の間だから分からないかもしれませんね。</p>
田辺委員長	<p>健康福祉課で何か答えますか。社会福祉協議会から何かありますか。</p>
長谷川委員	<p>では、そういうことでご理解いただいて。</p>
田辺委員長	<p>大通の現状ということで。</p> <p>そうですね。ありがとうございます。</p>
中丸委員	<p>ほかに何かありますか。何でもけっこうです。</p> <p>推進している立場で困っていることを一つ、少し愚痴を話させていただきます。</p>
	<p>先ほどから報告の中で、特に高齢者の問題などになりますと、保健会という言葉がよく出てきます。保健会からやっていただいている、保健会の協力をいただいているという言葉が出てくるわけですが、その保健会の位置づけが、私も地域で活動する中で、そういった自治会</p>

の寄合になりますと、男性の方がほとんどです。しかし、健康とか福祉とかという面で、なおかつ保健などという問題になりますと、女性の力が本当に強い。頼りにする部分が多いわけですが、そのことが、地域では役には就きたくない、それは当然ですよ。皆さん、共稼ぎで出ている時代ですから、役員には就きたくないという事情も分かりますけれども、とにかくその重要性がお互いに分かってやれていないと。男性からすると、地域における女性が家庭に関することで、子育てに関することで大事な役割を果たしてくれているという気持ちも足りないのかもしれないし、当事者の女性の方も、これは私たちの得意分野、特性が活かせる分野だからという部分で、お互いが評価してやれないというか、評価しないというか、そういう体制が今続いているような感じがいろいろな会議に出ていてします。保健会からの愚痴が本当に多くて、私も何とか、そういう意味では、今日のこの会議は女性が多くて心強いなど、これは前に進む会ではないかなと思っ

ているわけですが、その辺を何とかバックアップしてもらえないのか。新たな組織をつくって女性を引っ張り出そうとしたら、これは多分大変なことではないかなと。すでに今ある組織を何とか強化するくらいの考え方の中で、いろいろな事業に参加してもらって、そうすれば実数が上がるのではないかなと、私は強く感じているものですから、この辺、今日はいろいろな立場の方がいらっしゃるので、ご意見がお互いに聞けたらいいのではないかと思うことと。

それからもう一つ、私も地域で主眼にしているのが、高齢者が本当に多いのです。日中は若い方は皆勤めに出て、年寄りの方が一人であるという。だから、安心して住める地域と、なおかつ若い人が安心して外へ働きに出られる環境というものを地域でつくればと思って、何とか連携したいと思っている中で、避難行動要支援者名簿というものがございしますが、これもいろいろな行政に確認したところ、把握の仕方で、例えば高齢者、障がい者、俗に言う生活弱者という中で、貴方は支援を要しますかと、こういう提案の仕方をすると、大抵は回答率がものすごく低くて、登録者が少ないと。それを、該当者に全部案内を出して、貴方は大丈夫ですかと、必要ありませんかという形にすると、いや、やはり心配だから頼むよという形で、やはり当人から地域にかかわってもらいたいと言いますか、俺はとにかく元気なときは、生活しているときはお互いに元気ですから、人の厄介にはならなくてもいいと、こういう気持ちが高齢者の方でも、少々不自由な方でもあるわけですが、そこを何とかかかわることによって甘えてもいいのだ

	<p>よというような環境をつくるには、この支援者対象者をどのように把握するかという方策と言いますか、方法によっても違ってくるのではないかと思うので、その辺で今日の主催者と言いますか、行政等で回答をいただければありがたいのですが、よろしく願いいたします。</p>
田辺委員長	<p>ありがとうございました。健康福祉課で、今、保健会の検討、それからもう一つ要介護の避難所の関係でお願いしたいと思いますが。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。まず1点目の保健会の質問に関して、私、保健会の連合保健会の連絡調整をさせてもらっています健康増進系の相田です。今、地域ではなかなか手がいないという話もいただきまして、お互いに重要性が評価できていないのではないかというお話もいただきました。庄瀬の地区からは、去年と今年度、地域生活センターでミニドックを開催するというので、非常に庄瀬地域の保健会の皆さんからは、このミニドックをどうやったらPRできるだろうかという話を自主的にされていまして、保健会でチラシを作るので、それを配りたいというお話を、区役所にご相談をいただきました。せっかくミニドックのチラシ、何月何日にありますよというチラシだけで配るのはもったいないので、では裏に、裏面は区役所でミニドックの申込書を、そのままその用紙を使って申し込みができるように、裏面は区役所で、でも表面は保健会で健診のPRを作りましょうということで、非常に一緒に活動させてもらっていて、ありがたいと思っています。</p> <p>活動が終了しました年度末には、保健会の活動の評価をしているのですけれども、その中では、やはりとてもよかったという意見もたくさん届いております。それから、保健推進員自身も、そのなっていられしやるときの健診の受診率というものが一般の南区民の方の受診率よりも高い状況になっていますので、推進員は任期の間、やはり少しいろいろな地域のリーダーというか、一歩前に出て健康情報を勉強していただいているのだなという成果はきちんと出ているのですが、今回、地域では逆に大変だったり、なかなか役員を引き受けたくないというような、両方のものがあると思うのですが、今はお話としては愚痴のほうがたくさん出てきたようですけれども、私たち、健康福祉課には、地域で保健会の活動をしてよかったという、横のつながり、いろいろな地域の方とつながりがもててよかったというようなご意見はいただいておりますので、ぜひいい部分もご紹介させていただきました。</p> <p>答えにはなっていないかもしれませんが、以上です。</p>
田辺委員長	<p>ありがとうございました。2番目の関係で、お願いします。</p>

事務局	<p>避難行動要支援者の関係でのご質問で、もう少しこの探し方といいますか、登録者の探し方についてという部分についてのお話がありました。まず、この件につきましては、避難行動要支援者制度というのは、東北の大震災のときに、要するに災害弱者と言われる方々が、津波が襲ってきたわけなのですけれども、やはり足が不自由だとか、寝たきりだとかという形の方々が、やはり津波の被害に遭って、逃げ遅れて亡くなったということもございまして、国が進めてきた経緯もございまして。</p> <p>この制度につきましては、周知につきましては、新潟市の市報にいがたにもこういう制度がございましてよということで、確か今年の6月頃だったと思うのですけれども、出させていただいた経緯もございまして、これからなのですけれども、今日、委員の中にも民生委員の方がおられますが、市である一定の条件、例えば高齢者世帯のみとか、障害者1級、2級だとか、療育手帳Aというものを持っている方々とか、そういった方々、対象者を年に1回リストアップしまして、この方々のお宅に、民生委員の方々からご協力をいただきまして、家庭訪問をしていただくことになっております。その中で、ご希望のある方、中には高齢者世帯の方々といっても、ご夫婦で買い物に行っているのです、別にこの制度のお世話にならなくてもいいですよという方々もおりますので、そういった方々は登録しないのですけれども、やはり足腰が少し弱くなってきたので、一人で逃げるのはなかなかという方につきましては、民生員の説明を聞いた後に登録の申請書を出していくという形になります。</p> <p>登録の申請を出しますと、年2回なのですけれども、名簿を2回、各民生委員の方、各自治会にお配りしているということで、それを受け取った、例えば自主防災会では、個別支援計画というものを立てるのです。例えばAさんについては、近所の誰々さんから協力してもらおうとか、Bさんについては、これは誰々という形よりもハンデを少し考えてもらおうとか、いろいろな形で、各自主防災会で考えていただくという形で、お任せするようになっているのです。そういった方々の名簿をお配りさせていただいているというのが現状です。</p> <p>この制度につきましては、別に誰でもと言いますか、要支援を必要とする方々、誰でも、いつでも登録はできるものですから、中にはたまに自治会長からこの家は登録していないようなのだけれども、登録したほうがいいのだけれども、登録したほうがいいと思うのだけれども、申請はどうすればいいのだろうかというようなお問い合わせを</p>
-----	--

	<p>             いただいて、申請についてご案内をさせていただくということもございますし、地域包括支援センターの職員の方々も、やはりそういったお年寄りだとか、あるいは足の不自由な方とか、いろいろな障がいをもっている方々のところに家庭訪問をすることもございますので、そういったところからも、職員の方々から区役所に連絡がありまして、この方は名簿に登録していますかというような照会をたまにいただいて、登録していないようであれば、申請書をお渡しして登録するというような流れになっております。           </p> <p>             ただ、この制度につきましては、1点注意しなければいけないことがあります。何でもかんでも登録する、高齢者だから何でもかんでも登録するという形になってきますと、実際に手助けするのはやはり自主防災会なものですから、行ってみただけでも、自分できちんと歩いて出て来て、自分で避難できるという方ばかり出てこられますと、本当に必要とする方が後回しになってしまうというようなこともございます。救急車のこともそうなのですが、本当に必要とする方が後回しになってしまうと、これもまた困ることになりますので、この避難行動要支援者の制度につきましては、本当に自分一人ではできない、誰かの助けがないと避難できないという方々に登録をしていただければありがたいと思っております。           </p> <p>             いただいた意見を参考にしながら、今後やっていきたいと思っております。よろしくお願いたします。           </p>
<p>中丸委員</p>	<p>             ご見解につきましては、新潟市の中でも南区だけだそうなので、貴重な組織ですので、これを何とか活かす方法を考えたらありがたいと思うことと、それから、本当に災害弱者といいますか、本当に頼らなければならない、特に日中の場合は、そういう方がけっこういらっしゃるものですから、皆さんで安心する組織ができればいいのではないかと願っていますので、よろしくお願いたします。           </p>
<p>長谷川委員</p>	<p>             皆さんの意見が聞きたいのです。今、保健会の話が出たので少しお聞きしたいのですが、私も、15年前でしょうか、自治会長をやっていたのですが、その役員会の際に、保健会というものは、男性は拒否と、女性から選出と、そのようにずっと思っていたのですが、大通の保健会の会合に行きましたら、少し用事がありましてこの前行ったら、男性の方もけっこういらっしゃったのです。あれは衝撃で、えーっと。やはり人選の関係があるのかなと思ったのですが、うちの自治会は80弱なのです。ですから、うちの町内は、保健会は任期2年で女性という形でやっているのです。多分、うちの           </p>



	<p>自治会よりもほかに地域でけっこう大きいものもありますから、男性の方が選出されるのでしょうかけれども、ほかのエリアというのは、保健会の役員選出といったら、男、女といったら、どういうものなのでしょう。そこを参考にしてというか、本当に衝撃で、男性がやっていらっしゃるのだと思って、尊敬するというか、何と言ったらいいのかという、少し思ったのですけれども、本当に衝撃的で。</p>
田辺委員長	<p>今、長谷川さんからそういうものがありました。どうでしょう。今、男性の保健会のメンバーがいる地区の方というのは、庄瀬だけですか。</p>
委員	<p>私、民生委員なのですけれども、確か、松橋の。</p>
田辺委員長	<p>松橋、根岸の方ですね。</p>
委員	<p>はい。たしか、今年からいらっしゃったと思います。</p>
委員	<p>決まりはないのでしょうか。</p>
田辺委員長	<p>どうでしょうか。相田さん、決まりはあるのですか。</p>
事務局	<p>保健会に関しては、女性でなければならないという決まりは実はありませんので、随分昔は女性の組織ということで立ち上がったと聞いておりますが、現在では男性の推進員も多くいらっしゃいます。新飯田地区も今年度の会長は男性ですし、庄瀬の方もいらっしゃいますし、いろいろな地区で男性の推進員が活躍されています。例えば回り順番、家の回り順番だったときに、たまたまその方が男性で出てこられたり、あとは家庭で受けていて、奥様がちょうど妊娠、出産時期に当たって、その間だけ旦那様、男性の方が担いますということも最近はずごく多くなっておりますので、男性の推進員が珍しいということではなくなってきています。</p>
長谷川委員	<p>大変ありがとうございました。参考にします。</p>
田辺委員長	<p>今、いろいろと意見が出ましたけれども、女性が大勢おられるので、誰か、女性を代表して何か質問がございましたら、ありませんか。</p>
上杉委員	<p>小項目「高齢者の健康づくり・介護予防の推進」8ページで、現在「はかろう体重！大作戦の実施」ということで、カードの配付を一生懸命やっていたらというの分かるのですが、ここで目標数が1万枚としたところ、実績が1万1,461枚配ったということなのですが、現実に公民館とかセンターに束になって置いてある状態のままで、実際にそういうところに配った枚数ではなくて、体重を計りましたという、戻ってきた件数というのは実際に把握されているのかなど。結局、皆さんが健康に目を向けて1か月間体重を計ってみましたという実績は、集約できると思うのです。届けてきているはずですので。そ</p>

<p>田辺委員長</p>	<p>れを、行政では数を集約しているのかなと、一つ疑問になったことと、もう1点、「認知症予防出前講座」で、現在、運動普及推進員という方がいらっしゃるということなのですが、これに対しての知名度というか、それがどれだけ自治体にも知名度が行き渡っているのか。実際に私もお茶の間を何軒かかかわっているのですけれども、そういったところでもし来ていただけるものであれば、利用したいと思いますので、知名度というか、推進員の方が実際に何名くらいいらっしゃって、どのくらい活動できるのか、少し知りたいと思いました。</p>
<p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。認知症の件と、「はかろう体重！大作戦」の配った枚数ではなくて、実際に体重を計ったそのものを把握しているものがあつたら教えていただきたいという質問だと思いますが、いかがでしょうか。</p> <p>ご質問ありがとうございます。「はかろう体重！大作戦」は、実際に区役所にカードを取り組みましたということで、全部各地域から戻ってきたものは集計をしてありまして、ビデオにもありましたが、平成29年度は四百六十数件、そして去年の平成30年度は640件ほどです。区役所としては、1,000枚戻ってきてほしいということで、今年度も引き続き頑張っているところです。</p> <p>2点目の「認知症予防出前講座」に関しましては、南区は運動普及推進員がほかの区に比べますと、少し人数が少ないのです。そして、常時この出前講座で活動できますと言ってくさっている推進員が実際のところ2名と、ほかの区に比べますと非常に少ないのですが、ただ、できるだけ茶の間、茶の間へのPRといたしましては、区だよりに掲載したり、それから、社会福祉協議会が主催します茶の間のリーダーを集めて、年度末でしょうか、年1回説明をする場があるのですけれども、今年度はお邪魔していないのですが、そこにその前の年にお邪魔して、こういったものをやりますので、よければ希望を出してくださいということでお話をさせてもらっていますので、またご要望がありましたら、こちらの健康福祉課健康増進係までお話をいただければ、運動普及推進員でその日に都合のつく方を募りまして、ぜひ出掛けたいと思いますが、ただお二人しかいないので、なかなか都合が合わないということもありますので、そうしましたら運動普及推進員ではなく、私たち、地区担当をしている保健師、あとは作業療法士、リハビリの職員がおりますので、そういった職員で対応してまいりますので、ぜひお声掛けいただければと思います。</p>
<p>田辺委員長</p>	<p>上杉さん、よろしいでしょうか。ありがとうございました。</p>

事務局	<p>大変時間も押しておりますので、この辺で質疑応答という時間は終了させていただきたいと思えます。どうも、本当にありがとうございました。いろいろな意見を出していただきまして。</p> <p>それでは、先に進ませていただきます。次第の5番、報告及び連絡事項でございます。事務局、お願いいたします。</p> <p>連絡事項が4点ほどあります。まず1点目、新潟市の地域福祉に関するアンケート調査についてです。これは、資料4をご覧ください。これは、新潟市の本庁福祉部福祉総務課というところが、今年度すでに行っておりますアンケートになります。無作為抽出で二十歳以上の市内4,000人の方々を対象に調査を行って、結果については次期福祉計画の中で現状分析に使用するものでございます。無作為抽出ですので、アンケートが届いているという方もおられるかもしれませんが、調査についてご協力いただければと思っております。</p> <p>2点目、次期計画の策定についてです。本日配布しました資料5です。「南区地域福祉アクションプラン策定経過」をご覧ください。これは、アクションプランの本冊の冊子の50ページにあるものを抜粋したものでございまして、平成26年度に現在の計画を策定する際に行った大まかな経過になっています。次期計画策定については、主に来年度になりますが、その経過は平成26年度とほぼ同じような作業を辿るのではないかと思われます。その際は、委員会、または分科会を複数回開催することになりますし、社会福祉協議会が策定します地域福祉活動計画、これは地区別計画になるのですけれども、各地区で座談会を2回程度開催していたということですので、今年度はその下準備を行っていくこととなります。行程や具体的なことについては、まだ決まっておりますが、事務局としては、次年度に向けて準備作業を開始するというをあらかじめ含んでおいていただければと思っております。</p> <p>次に3点目、次回の推進委員会の開催についてです。通常であります、3月中旬を予定しております。今回は、令和2年度の計画案や今年度の地区別計画の取組みについて、それぞれ12地区の推進員から取組み状況や評価をご報告いただくことになっておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。</p> <p>なお、先ほど申し上げた次期計画のことなのですけれども、このことでどうしても皆様にかかわっていただくような案件が今年度内に浮上しましたら、委員長または副委員長とご相談させていただいたうえ</p>
-----	--

	<p>で、臨時招集をさせていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。</p> <p>最後になります。今年度新たに委員に就任された方は、マイナンバーの報告書を事前資料と併せて郵送させていただきましたので、報償費の支払いのときに必要になりますので、終了後に事務局までお願いしたいと思います。以上です。</p>
田辺委員長	<p>ありがとうございました。ただいまの報告事項、何か聞き忘れというか、ありましたら一つお願いしたいと思います。今の報告で理解できましたか。</p>
委員	<p>このアンケートはどこに出すのですか。</p>
事務局	<p>このアンケートにつきましては、今年度中に本庁で結果をまとめまして、最終的にはこれから次期計画ということで、来年度作成する地域福祉計画というものを作らなければいけないのですけれども、その中でアンケート結果を見せていくと、現状分析に使っていくという形になるかと思います。</p>
委員	<p>このアンケート調査というのは、新潟市から直接抽出して、送られてくるということですか。</p>
事務局	<p>そうです。</p>
委員	<p>そういうことでいいわけですね。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおりです。</p>
委員	<p>そうなりますと、南区へは何名くるということは、事前に発表されているのですか。</p>
事務局	<p>無作為抽出ですので、何名かというのはあれなのですけれども、人口割りからすると概ね 300 人かなという感じはするのですけれども、ただ、無作為抽出ですので、その辺のところはご了承くださいと思います。</p>
田辺委員長	<p>では、いいでしょうか。</p> <p>では、次回の会議は 3 月ということで、このときには各地区の分野別計画だけでなく、社会福祉協議会が主体となっている区内 12 地区の福祉活動計画の進捗についても報告があろうかと思っています。委員の皆さん、本当に大変だと思いますが、とりまとめをお願いしたいと思います。これで次期計画のことで、先ほども説明がありましたが、臨時招集ということがありましたら、ぜひ出席をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは、本日、議事等についても終了いたしましたので、会議の進行を事務局にお返ししたいと思います。本当に今日は不慣れな司会でしたが、スムーズに協力いただきまして本当にありがとう</p>

事務局	<p>ございました。どうもありがとうございました。</p> <p>では、事務局、お願いいたします。</p> <p>長時間にわたりましてありがとうございました。本日いただきましたご意見を参考に、今後のアクションプランを推進していきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。</p> <p>それでは、予定したものはすべて終了となります。本日はありがとうございました。</p>
-----	--